

指定管理者施設管理評価シート（H19）

部	保健福祉部	課	高齢福祉課
---	-------	---	-------

施設名	いけのはたデイホーム	指定管理者の名称	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団
-----	------------	----------	-------------------

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986（昭和61）年10月に設立した社会福祉法人である。

【事業内容】児童部門…児童館（7）、こどもクラブ（13）
 高齢者部門…特別養護老人ホーム（3）、高齢者在宅サービスセンター（4）、地区デイホーム（2）、ホームヘルプステーション（1）、在宅介護支援センター（3）、老人保健施設（1）、老人福祉センター（1）、老人福祉館（3）の運営

【経営の状況】（18年度決算ベース）
 [社会福祉事業会計] 歳入 2,325,052,110 円、歳出 2,307,580,095 円、収支差額 17,472,015 円
 [公益事業特別会計] 歳入 332,675,271 円、歳出 348,785,744 円、収支差額 -16,110,473 円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】台東区池之端2-1-22
 【開設】平成10年12月1日（9年経過）
 【建物概要】延べ床面積 4310㎡のうち194㎡ 忍岡小学校内 鉄筋コンクリート造地上4階のうち1階の一部
 【利用定員】15名
 【職員数】4名 ※施設長を除く（平成19年3月末現在）《内訳》施設長(1兼務)、介護職員(常勤1、非常勤2)、看護師(非常勤1)

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標(利用者数等)、自主事業）

【事業の概要】①通所介護サービス（送迎・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談・口腔ケア）、②介護予防通所介護サービス（送迎・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談・運動器機能向上訓練・口腔ケア・アクティビティ等）

【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。
 ①利用者本位のサービス提供、②地域福祉機能の充実、③透明性、信頼性の確保、④事業団らしさの発揮、⑤自立的、効率的運営の推進 の5つの基本方針を掲げている。

【自主事業】自主事業は行っていない。

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

【稼働率目標】85%に設定。18年度の実績は91.5%。（前年度より6.9%上昇）
 【施設管理】平成10年6月1日開設（開設後9年経過）のため、計画的な修繕・保全が必要。

◆18年度延べ利用人数

単位時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通所介護 6~8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 4~6	325	360	346	354	351	355	347	341	328	314	302	313	4,036
通所介護 3~4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 2~3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防通所介護	0	9	9	9	9	10	13	24	30	28	37	53	231
計	325	369	355	363	360	365	360	365	358	342	339	366	4,267
利用率(%)	86.7	91.1	91.0	93.1	88.9	93.6	92.3	93.6	91.8	91.2	94.2	90.4	91.5

5. 予算決算の推移

(単位：円)

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	負担金補助及び交付金	1,945,000	0	0		
	料金収入等	24,773,000	26,100,000	28,628,000		
	管理経費	26,718,000	26,100,000	28,628,000		
決 算	負担金補助及び交付金	4,406,012	3,803,118			
	料金収入等	27,419,981	33,217,181			
	管理経費	28,022,875	30,397,162			
	収 支	3,803,118	6,623,137			

6. 評価項目		
①施設によるサービス提供		
(1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇[3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
②事業		
(1)委託事業が適切に実施されているか[3]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[3]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に役立ったか[-] 【標準6項目、本施設は5項目を評価】		
③施設の管理		
(1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[3]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[3] (9)関係団体・地域との連絡調整等[3]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】		
④利用者の満足度等		
(1)利用者・第三者機関の評価[3]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[3] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
⑤歳入歳出		
(1)適正な予算執行[3]、(2)経費の縮減、縮減努力[3]、(3)施設サービス・事業等の見直し[3] (4)利用者数増等による収支改善努力[3] 【標準4項目、本施設は4項目を評価】		
7. 評価		
「A+」(優良)：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」(妥当)：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」(課題あり)：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」(要改善)：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
①施設によるサービス提供	A	良好なサービス提供が行われている。現在のサービス水準を落とさないよう、質の高いサービス提供に努めていく。
②事業(区の事業、自主事業)	A	各項目とも良好に行われている。稼働率も上昇し、目標値を達成した。介護予防通所介護事業の実施については、関係機関と密接な連携を図り、利用者の自立支援に向けた取組みを行った。
③施設の管理(補修、緊急対応等)	A	適切な日常の点検及び清掃等により、緊急な工事・修繕もなく良好な管理が行われている。
④利用者の満足度等	A	利用者からの苦情等はみられないことから、概ね良好に運営されている。今後は全体的に活用できる利用者アンケートとして、実施内容について企画設計していく必要がある。
⑤歳入歳出	A	人件費、事業費の増加により、管理経費が増加している。適切な経費による管理運営に向けた検討をしていく。
⑥総合評価	A	全体的に良好である。
8. 課題への対応等		
サービスの提供等、全体的に良好である。 今後も、現在のサービス水準を維持するとともに、利用者本位のサービス向上を目指し、さらなる改善を検討していく。施設管理の面においては、当面は現状を維持し良好な管理を保っていく。 併設する忍岡小学校の改修が行われたのが昭和49年であるため、開設からの経過年数は8年だが、建物全体の経過年数を考慮する必要がある、適切な管理運営を行うための修繕計画が課題となってくる。		

指定管理者施設管理評価シート（H19）

部	保健福祉部	課	高齢福祉課
---	-------	---	-------

施設名	たなかデイホーム	指定管理者の名称	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団
-----	----------	----------	-------------------

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986（昭和61）年10月に設立した社会福祉法人である。

【事業内容】児童部門…児童館（7）、こどもクラブ（13）
 高齢者部門…特別養護老人ホーム（3）、高齢者在宅サービスセンター（4）、地区デイホーム（2）、ホームヘルプステーション（1）、在宅介護支援センター（3）、老人保健施設（1）、老人福祉センター（1）、老人福祉館（3）の運営

【経営の状況】（18年度決算ベース）
 [社会福祉事業会計] 歳入 2,325,052,110 円、歳出 2,307,580,095 円、収支差額 17,472,015 円
 [公益事業特別会計] 歳入 332,675,271 円、歳出 348,785,744 円、収支差額 -16,110,473 円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】台東区日本堤2-25-10
 【開設】平成10年12月1日（9年経過）
 【建物概要】延べ床面積 5980㎡のうち155㎡ 田中小学校内
 鉄筋コンクリート造地上5階のうち1階の一部
 【利用定員】15名
 【職員数】3名 ※施設長を除く（平成19年3月末現在）《内訳》施設長(1[兼務])、介護職員(常勤1、非常勤1)、看護師(非常勤1)

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標(利用者数等)、自主事業）

【事業の概要】①通所介護サービス（送迎・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談・口腔ケア）、②介護予防通所介護サービス（送迎・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談・運動器機能向上訓練・口腔ケア・アクティビティ等）

【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。
 ①利用者本位のサービス提供、②地域福祉機能の充実、③透明性、信頼性の確保、④事業団らしさの発揮、⑤自立的、効率的運営の推進 の5つの基本方針を掲げている。

【自主事業】自主事業は行っていない。

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

【稼働率目標】85%に設定。18年度の実績は71.4%。（前年度より7.2%上昇）
 【施設管理】平成10年12月1日開設（開設後8年6ヶ月経過）のため、計画的な修繕・保全が必要。

◆ 18年度延べ利用人数

単位時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通所介護 6~8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 4~6	254	271	265	245	214	198	178	163	133	151	146	163	2,381
通所介護 3~4	0	0	0	0	7	7	9	5	8	6	7	9	58
通所介護 2~3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防通所介護	10	10	23	45	58	73	103	99	110	109	116	135	891
計	264	281	288	290	279	278	290	267	251	266	269	307	3,330
利用率(%)	67.7	69.4	73.8	74.4	69.1	74.4	74.6	68.5	64.4	71.0	74.7	75.8	71.4

5. 予算決算の推移

(単位：円)

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	負担金補助及び交付金	3,624,000	1,559,000	6,061,000		
	料金収入等	22,282,000	26,394,000	22,541,000		
	管理経費	25,906,000	27,953,000	28,602,000		
決 算	負担金補助及び交付金	3,624,000	1,559,000			
	料金収入等	20,224,938	23,191,451			
	管理経費	23,848,230	24,672,220			
	収 支	708	78,231			

6. 評価項目		
①施設によるサービス提供		
(1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇[3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
②事業		
(1)委託事業が適切に実施されているか[3]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[3]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[-] 【標準6項目、本施設は5項目を評価】		
③施設の管理		
(1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[3]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[3] (9)関係団体・地域との連絡調整等[3]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】		
④利用者の満足度等		
(1)利用者・第三者機関の評価[3]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[3] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
⑤歳入歳出		
(1)適正な予算執行[3]、(2)経費の縮減、縮減努力[3]、(3)施設サービス・事業等の見直し[3] (4)利用者数増等による収支改善努力[3] 【標準4項目、本施設は4項目を評価】		
7. 評価		
「A+」(優良)：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」(妥当)：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」(課題あり)：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」(要改善)：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
①施設によるサービス提供	A	良好なサービス提供が行われている。現在のサービス水準維持し、より一層利用者本位のサービス提供に向けた取組みを検討する。
②事業(区の事業、自主事業)	A	概ね良好に行われている。稼働率については上昇しているが、目標の達成に向けた質の高いサービスの提供を目指していく。
③施設の管理(補修、緊急対応等)	A	適切な日常の点検及び清掃等により、緊急な工事・修繕もなく良好な管理が行われている。
④利用者の満足度等	A	18年度第三者評価利用者調査では、総合的に利用者の満足度が高い。施設が実施する利用者アンケートについては、全体的に活用できる利用者アンケートとして、実施内容について企画設計していく必要がある。
⑤歳入歳出	A	主に業務委託費の増加に伴い、管理経費が増加しているため見直しを図る。
⑥総合評価	A	全体的に良好である。
8. 課題への対応等		
サービスの提供等、全体的に良好である。 今後も、現在のサービス水準を維持するとともに、利用者本位のサービス向上を目指し、さらなる改善を検討していく。管理経費については、業務内容を精査し削減について検討をしていく。 併設する旧田中小学校の改修が昭和55年であるため、開設からの経過年数は8年だが建物全体の経過年数を考慮する必要があり、適切な管理運営を行うための修繕計画が課題となってくる。		

指定管理者施設管理評価シート（H19）

部	保健福祉部	課	高齢福祉課
---	-------	---	-------

施設名	たいとう高齢者在宅サービスセンター	指定管理者の名称	社会福祉法人 聖風会
-----	-------------------	----------	------------

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】社会福祉法人聖風会は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、昭和30年1月6日に設立した社会福祉法人である。

- 【業務内容】
- (1) 第一種社会福祉事業…特別養護老人ホーム（5）、軽費老人ホーム（1）
 - (2) 第二種社会福祉事業…高齢者在宅サービスセンター（8）、短期入所（5）、支援センター（5）、ヘルパーステーション（2）、グループホーム（1）
 - (3) 公益を目的とする事業…ケアマネジメントセンター（8）

【経営の状況】（18年度決算ベース）

〔社会福祉事業会計〕歳入 3,805,503,679 円、歳出 3,555,071,234 円、収支差額 250,432,445 円
 〔公益事業特別会計〕歳入 84,466,720 円、歳出 97,344,130 円、収支差額 -12,877,410 円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】台東区台東1-25-5

【開設】平成13年6月1日（6年経過）

【建物概要】延べ床面積 21236㎡のうち1147㎡
 鉄筋コンクリート造地上14階地下2階のうち3階の一部
 デイルーム、機能訓練室、談話室、クールルームなど

【利用定員】一般30名、認知症12名

【職員数】17名 ※施設長を除く（平成19年3月末現在） 《内訳》施設長（1〔兼務〕）、事務員（1）、相談員（2）
 介護職員（常勤4、非常勤6）、看護師（3）、マッサージ師（1）

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標（利用者数等）、自主事業）

【事業の概要】通所者の健康管理、機能訓練、生活介護（食事・介護・排泄・入浴）季節行事や年間の防災訓練等の事業。

【事業の特徴】社会福祉法人聖風会では、①相手の立場で見る・聴く・考える②相手の笑顔・自分の笑顔③その人がその人らしく生きることを運営方針として掲げている。

【自主事業】自主事業は行っていない。

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

【稼働率目標】一般デイ 86%、認知デイ 81%に設定。18年度の実績は一般デイ 90.7%、認知デイ 66.1%。（前年度より一般4.5%上昇、認知7.3%減少）

【施設管理】平成13年6月1日開設（開設後6年経過）のため、計画的な保全が必要。

◆ 18年度延べ利用人数

（一般デイ）

（認知症状デイ）

単位時間	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	計
通所介護 6~8	2,051	2,179	2,006	1,725	7,961
通所介護 4~6	0	0	0	0	0
通所介護 3~4	0	0	0	0	0
通所介護 2~3	0	0	0	0	0
介護予防通所介護	8	79	178	272	537
計	2,059	2,258	2,184	1,997	8,498
利用率(%)	88.0	92.4	93.3	88.9	90.7

単位時間	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	計
通所介護 6~8	632	694	497	621	2,444
通所介護 4~6	0	0	0	0	0
通所介護 3~4	0	0	0	0	0
通所介護 2~3	0	0	0	0	0
介護予防通所介護	0	11	13	0	24
計	632	705	510	621	2,468
利用率(%)	67.3	73.7	54.5	68.7	66.1

5. 予算決算の推移

（単位：円）

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	負担金補助及び交付金	8,685,000	7,094,000	2,808,000		
	料金収入等	109,491,000	110,090,000	115,884,000		
	管理経費	118,176,000	117,184,000	118,692,000		
決 算	負担金補助及び交付金	9,363,000	7,094,000			
	料金収入等	106,538,436	106,335,116			
	管理経費	110,963,942	105,532,410			
	収 支	4,937,494	7,896,706			

6. 評価項目		
①施設によるサービス提供		
(1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇[3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
②事業		
(1)委託事業が適切に実施されているか[3]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[3]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[-] 【標準6項目、本施設は5項目を評価】		
③施設の管理		
(1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[3]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[3] (9)関係団体・地域との連絡調整等[3]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】		
④利用者の満足度等		
(1)利用者・第三者機関の評価[4]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[3] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
⑤歳入歳出		
(1)適正な予算執行[3]、(2)経費の縮減、縮減努力[3]、(3)施設サービス・事業等の見直し[3] (4)利用者数増等による収支改善努力[3] 【標準4項目、本施設は4項目を評価】		
7. 評価		
「A+」(優良)：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」(妥当)：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」(課題あり)：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」(要改善)：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
①施設によるサービス提供	A	良好なサービスの提供がなされている。
②事業(区の事業、自主事業)	A	各項目とも良好に行われている。介護予防通所介護事業は関係機関との密接な連携を図り、利用者の自立支援に向けた取組みを行った。
③施設の管理(補修、緊急対応等)	A	適切な日常の点検及び清掃等により、緊急な工事・修繕もなく良好な管理が行われている。
④利用者の満足度等	A	利用者満足度調査では、満足、特に不満はないと大多数が回答(22項目)。自己評価において課題や意見等について、対応・改善策を講じている。
⑤歳入歳出	A	より一層の収支改善のため、料金収入の増収や管理経費の削減を目指す。
⑥総合評価	A	全体的に良好である。
8. 課題への対応等		
サービスの提供等、全体的に良好である。 今後も、現在のサービス水準を維持するとともに利用者本位のサービス向上を目指し、さらなる改善を検討していく。開設後6年が経過している施設であるが、施設管理の面においては緊急度の高いものから工事等計画的に行うことにより適切な管理ができた。引き続き良好な維持管理を行っていく。		

指定管理者施設管理評価シート（H19）

部	保健福祉部	課	高齢福祉課
---	-------	---	-------

施設名	くらまえ高齢者在宅サービスセンター	指定管理者の名称	社会福祉法人 東京援護協会
-----	-------------------	----------	---------------

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】社会福祉法人東京援護協会は、時代の要請に基づき先駆的に社会福祉の充実を図るため、昭和24年5月に財団法人として設立し、昭和27年5月に社会福祉法人に組織変更した。

【業務内容】1. 高齢者部門＝特別養護老人ホーム（4）、ケアハウス（1）、高齢者在宅サービスセンター（6）、居宅介護支援事業所（6）、在宅介護支援センター（2）、地域包括支援センター（3）
 2. 障害者部門＝知的障害者更生施設（2）、知的障害者授産施設（4）、身体障害者授産施設（3）、地域活動支援センター（1）、福祉ホーム（1）
 3. その他部門＝措置施設（3）

【経営の状況】（18年度決算ベース）
 [社会福祉事業会計] 歳入 2,885,783,503 円、歳出 2,962,959,316 円、収支差額 -77,175,813 円
 [社会福祉授産特別会計] 歳入 1,090,021,684 円、歳出 992,894,708 円、収支差額 97,126,976 円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】台東区蔵前2-11-7
 【開設】平成7年6月1日（12年経過）
 【建物概要】延べ床面積 3937㎡のうち574㎡ 特別養護老人ホーム蔵前内
 鉄骨鉄筋コンクリート造地上7階地下2階のうち6階の一部
 【入所定員】30名
 【職員数】12名 ※施設長を除く（平成19年3月末現在） 《内訳》施設長（1〔兼務〕）、事務員（1）、相談員（1）、介護職員（常勤5、非常勤3）、看護師（常勤1、非常勤1）

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標（利用者数等）、自主事業）

【事業の概要】通所介護サービス（送迎、食事、入浴、生活介護、機能訓練、生きがい活動、相談等）、介護予防通所介護サービス（送迎、食事、入浴、機能訓練、口腔機能ケア、栄養ケアなど）、施設入浴サービス（送迎、入浴）などの事業。

【事業の特徴】徹底した個別化を目指して一括活動プログラムは廃止し、本人の意向に添った個別プログラムでのサービスを提供している。医療的問題を抱える高齢者も前向きに受入を検討し、閉じこもり生活防止、家族負担の軽減等の理念で対応している。

【自主事業】自主事業は行っていない。

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

【稼働率目標】85%に設定。18年度の実績は87.2%。（前年度より2.8%上昇）
 【施設管理】（施設面）平成7年6月1日開設（開設後12年経過）のため、計画的な修繕・保全が必要。

◆ 18年度延べ利用人数

単位時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通所介護 6~8	547	680	690	636	672	632	612	599	505	544	540	583	7,240
通所介護 4~6	20	15	9	8	7	1	0	0	0	0	0	0	60
通所介護 3~4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 2~3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防通所介護	8	22	41	51	51	57	81	69	91	95	89	103	758
計	575	717	740	695	730	690	693	668	596	639	629	686	8,058
利用率(%)	76.6	88.5	94.8	89.1	90.1	88.4	88.8	85.6	82.7	88.7	87.3	84.6	87.2

5. 予算決算の推移

（単位：円）

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	負担金補助及び交付金	31,690,800	31,560,000	17,955,000		
	料金収入等	59,183,200	70,709,000	78,175,000		
	管理経費	90,874,000	102,269,000	96,130,000		
決 算	負担金補助及び交付金	32,318,800	31,560,000			
	料金収入等	62,973,453	90,071,213			
	管理経費	86,944,663	94,079,784			
	収 支	8,347,590	27,551,429			

6. 評価項目		
①施設によるサービス提供		
(1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇[3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
②事業		
(1)委託事業が適切に実施されているか[3]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[3]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[-] 【標準6項目、本施設は5項目を評価】		
③施設の管理		
(1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[3]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[3] (9)関係団体・地域との連絡調整等[3]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】		
④利用者の満足度等		
(1)利用者・第三者機関の評価[4]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[3] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
⑤歳入歳出		
(1)適正な予算執行[3]、(2)経費の縮減、縮減努力[3]、(3)施設サービス・事業等の見直し[3] (4)利用者数増等による収支改善努力[3] 【標準4項目、本施設は4項目を評価】		
7. 評価		
「A+」(優良)：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」(妥当)：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」(課題あり)：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」(要改善)：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
①施設によるサービス提供	A	良好なサービス提供が行われている。現在のサービス水準維持し、より一層利用者本位のサービス提供に向けた取組みを検討する。
②事業(区の事業、自主事業)	A	稼働率が目標を達成しており、引き続き良好なサービスを提供していく。また、マニュアルの整備により、管理がしやすくなり、職員の介護のムラも減らすことができた。また、介護予防通所介護事業を実施し、関係機関との密接な連携を図り、利用者の自立支援に向けた取組みを行った。
③施設の管理(補修、緊急対応等)	A	適切な日常の点検及び清掃等により、緊急な工事・修繕もなく良好な管理が行われている。
④利用者の満足度等	A	利用者満足度調査では、総じて満足度は高い(15項目)。自己評価で課題となった、より正確な結果を得られるための評価方法、調査方法等の検討結果を次回調査に反映されたい。
⑤歳入歳出	A	管理経費及び補助金縮減のために全体として見直しを図り、より一層効率的な運営を行わなければならない。
⑥総合評価	A	おおむね良好である。
8. 課題への対応等		
サービスの提供等、全体的に良好である。 今後も、現在のサービス水準を維持するとともに、利用者本位のサービス向上を目指し、さらなる改善を検討していく。開設後12年経過している施設であるが、施設管理の面においては緊急度の高いものから工事等計画的に行うことにより適切な管理ができた。引き続き良好な維持管理を行っていく。		